



笑顔 感謝 貢献

若あゆだより

岩脇小学校学校だより
第10号
(令和8年7月9日)

出前授業を行いました

7月3日（金）に、県水環境整備課、市環境保全課から講師をお招きして、4年生の出前授業「使った水はどこへ」を行いました。普段特に意識することなく使っている水が、様々な工程を経てどのように処理され、“安全できれいな水”になるのかを解説していただきました。実験では、アサリを使って汚れた水がきれいになっていく様子を観察したり、アメンボを使って汚れた水が生き物に与える影響を観察したりすることができ、環境保全の大切さを学ぶことができました。



4年「使った水はどこへ」

7月6日（月）に、阿南法人会から講師をお招きして、6年生の出前授業「租税教室」を行いました。社会の授業で学習した税の仕組みや社会とのつながりをより確かなものにするため、税金が何に使われているか、税金がなくなると私たちの生活がどうになってしまうのかを考える活動をとおして、私たちの生活に税金はなくてはならないものであることを学習しました。そして、最後に、1億円の束（レプリカ）を持たせていただきました。（※6年生はこの後、税についての作文を書く予定です）



6年「租税教室」

7月7日（火）に、阿南市B&G海洋センターから講師をお招きして、4年生で「水辺の安全教室」を実施しました。服を着た状態では思った以上に泳ぎにくくなることを実際に体験したり、空のペットボトルやライフジャケットを使った浮遊体験をしたりしました。



4年「水辺の安全教室」

子どもたちにとって、楽しくも体験をとおして水辺で安全に活動できる知識を身に付けることができました。

岩脇小学校では、様々な関係機関と連携して、このような出前授業を積極的に行っております。講師先生から、より専門的な内容を指導していただくことにより、子どもたちの学びの広がりや深まりにつなげたいと考えています。

校長室から

校内巡視で授業の様子を見ていると、子どもたちは丁寧にノートを取ったりワークに書き込んだりしているのですが、写真のように、鉛筆を握るように持つ児童が見受けられ、鉛筆の先が見えないので、斜めから（場合によってはほとんど横から）のぞき込むようにして書いています。

当然姿勢が悪くなるので余計な力が入り、書いている内容をきちんと見ることができないので、何回も手をのけて確認しなければならなくなります。そのため、書くこと自体がストレスになっている児童がいるかもしれません。

見かける度に正しい持ち方を指導していますが、ご家庭でも一度お子さまの鉛筆の持ち方を確認してみてください。

